

令和8年度

大手町小学校の教育活動

〈教育目標〉

- 生活手段を創造し、獲得できる知恵のある子供
- 強靱で柔軟な心を持ち、温かい人間関係をつくれる子供
- 困難に打ちかつ気力・体力のある子供

探究し続ける子供の資質・能力

- 直接体験と得た情報とを関連させて活用する「情報探究力」
- 他者との関係をつくり、協働的に課題解決に向かおうとする「人間関係力」
- 自らの学びを方向付ける「学びに向かう力」

「人間関係力」を見つめる視点
・共感・外向性

「情報探究力」を見つめる視点
・論理的思考・創造性
・情報端末の知識と技能

「学びに向かう力」を見つめる視点
・好奇心・自信
・情熱・粘り強さ・自己調整

学びの時間

自分自身の学びを
意味付けたり、
未来の自分を
思い描いたりする



教科

探究

教科の内容にか
かわる課題解決
を通して教科特
有の考え方を身
に付ける

身の回りの対象にかかわる
課題解決に向けて
活動することで、
対象の本質に迫る

ふれあい

・他者とのかかわりの中で豊かな心情を育む



学校・家庭・地域の同軸化



本校では、家庭・地域と学校が教育理念を共有し、愛情と信頼で貫かれた一本の軸で連携していくという意味から、三者の連携を「同軸化」と呼びます。

- 学校・家庭・地域の皆で楽しむ「スポーツフェスティバル」
- 学校・家庭・地域社会が一体となった「大手子どもまつり」
- フリーデー（自由参観日）の実施
- 子供の安全で充実した活動を支援する「学び・ささえ隊」
- 特技を生かし、子供の充実した活動を支える「ゆめ空間」
- 子供が楽しめるような活動を企画し、運営する「父親応援団」
- 主体的なPTA活動
- 地域の子供は地域で育てる「城東地域青少年育成会議」
- 共に子供のよりよい成長を考えていく「学校運営協議会」
- 子供のための教育の振興を図り、助成活動を行う「教育振興会」
- 地域で活躍する子供を見守る「同窓会」

「探究し続ける子供」を育む教育課程の創造



子供の資質・能力を育む活動

探究・・・身の回りの対象にかかわる課題解決に向けて活動することで、対象の本質に迫る



教科・・・教科の内容にかかわる課題解決に向けて活動することで、教科特有の考え方を身に付ける



ふれあい・・・他者とのかかわりの中で豊かな心情を育む



行事活動・・・スポーツフェスティバルや大手子どもまつりなど、子供の願いによって運営します



教育活動を推進する3つの校内委員会

【研究推進委員会】

- 「探究し続ける子供」に必要な3つの資質・能力を発揮・育成する教育課程の開発
- 公開授業研修を通じた3つの資質・能力を育む単元づくり

【生活指導委員会】

- 子供と子供、子供と教師の共感的な人間関係の育成
- 自ら判断し、行動できる子供の育成
- 家庭や地域、関係団体との連携と指導の充実
- 特別支援教育校内委員会との連携

【働き方改革委員会】

- 1ヶ月の超過勤務45時間以下、1年間の超過勤務360時間以下を目指した業務改善
- 各種休暇制度の適正な運用

現代、そして未来の社会を生きる子供たちは、これまでとは比べものにならないほどの多くの情報に囲まれて生活しています。このような社会をしなやかに生きる子供には、膨大な情報の中から自分にとって必要なものを選びとり、「なぜだろう」「どうしたらいいだろう」と問いを生み出す力が欠かせません。このような姿を思い描き、令和8年度は、重点目標を「探究し続ける子供」と設定しました。そして、「探究し続ける子供」に必要な資質・能力を「直接体験と得た情報とを関連させて活用する“情報探究力”」「他者との関係をつくり、協働的に課題解決に向かおうとする“人間関係力”」「自らの学びを方向付ける“学びに向かう力”」の3つに整理しました。本年度は、この3つの資質・能力を育成する教育課程編成に取り組みます。